

男性の出産休暇や多様な就業形態

株式会社太陽商工

企業概要

設立：昭和42年（1967年）
所在地：埼玉県さいたま市緑区
事業内容：給排水や衛生の設備工事等
従業員数：53人
（男性44人、女性9人）
一般事業主行動計画の策定 有



在宅勤務(テレワーク)の様子

取組のきっかけ

- 平成4年に、ゆとり創造企業として認定を受け、早くから週休二日制に取り組む建設業として、先駆的な経営をおこなってきた。
- 平成12年には、男女共同参画企業として表彰を受け、男女の区別なく従業員に対して支援してきた。

取組状況

- ① 男性の出産休暇制度
男性の育児休業制度に加えて、出産休暇制度を2日から5日に増やした。2人目の出産の時には、上の子どもをみなくてはならない等、家庭の状況を考えると男性の出産休暇も5日は必要だと考えた。〔男性の休暇取得実績 2人、4日及び5日〕
- ② 多様な就業形態
子どもがいる人を対象に、在宅勤務（テレワーク）などの形態で働く制度を実施している。就業規則がきめ細かく、育児休業や介護休業の他、看護休暇、1歳未満の子を持つ女性従業員の時短勤務、育児や介護を抱えた人の残業時間制限など、家庭生活に配慮した規定を充実している。
〔利用人数：在宅勤務（テレワーク）4人、育児休業 3人、介護休業、時短勤務 2人〕

社員の声

- 妻の出産に際し、二人目ということで慶弔休暇（有給）で4日休めたことで病院への送迎や一人目の子どもの世話等、大変助かった。
また、休んでいる期間の仕事も当社では周りの社員がカバーしあう風土があり、安心して休みを取得できた。

効果と課題

【効果】

- 同業他社に比べ、社員の定着率が高く、現場職場を敬遠しがちな若者の採用も順調である。
- 現場職の労働時間の短縮について、声をかけて休んでもらうようにしている。年3回の大型連休は、全員が必ず取得している。

【課題】

- 得意先企業の業務に合わせ働き方の工夫